

## サイトは日本語だけ!?

### 海外通販のトラブル

#### 事例

中学生の息子が、あるメーカーのサッカーシューズをインターネット通販で注文した。サイトは日本語なのに振込口座が外国人名義だったので、不審に思ったが、やっと探し当てたということもあり、代金を振り込んだ。その後、国際郵便で届いた荷物を開けてみると、注文したシューズとラインの色が違う上、つくりも粗雑で本物かどうか疑わしい。「注文した商品と違う。交換希望」と再三メールを送っても何の連絡もない。(当事者：中学生 男性)

海外の通販サイトで商品を注文したところ「届いた商品が模倣品のようだ」「商品が届かない」といった相談が寄せられています。このようなサイトは日本語で書かれているため、海外事業者の運営サイトであっても気づかず利用するケースがあります。

#### 【その商品、模倣品かも!? 模倣品を販売するウェブサイトのチェックポイント】

- ① 正確な運営情報（運営者氏名・住所・電話番号）が記載されていない。  
連絡手段がEメールしかないウェブサイトは危険です。相手から返信がなくなってしまうと、返金の交渉もできません。
  - ② 正規販売店の販売価格よりも、極端に値引きされている。  
お買い得すぎる商品、本当に本物ですか？慎重に判断しましょう。
  - ③ 日本語の表現が不自然である。  
機械翻訳のような日本語が使われていませんか？
  - ④ 支払い方法が銀行振込のみとなっており、クレジットカードが利用できない。  
模倣品を販売するウェブサイトでは、クレジットカードが利用できないケースが多くあります。また、銀行振込は、一旦振り込むとお金を取り戻すことは極めて困難です。サイトの名称や運営者氏名と口座名義人の異なるケースも注意が必要です。
- ・ 困ったときは、消費生活センターに相談してください。
    - 岐阜県県民生活相談センター 058-277-1003
    - 輪之内町消費生活相談窓口(住民課) 69-3111, 050-5808-9600